



たけお競輪事業のゆくえ

開設以来の岐路に立つ収支 6年の経営改革でH21年度再生に挑戦

年度	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
一般会計へ繰出 (億円)	0	2.8	3.1	4.8	5	5	5.5 [㊤]	6 [㊤]	3	4	4	4	2.5	0	1 [㊤]	0

★**これまでのあゆみ**
たけお競輪は、昭和25年に旧武雄町の事業として、始められ、昭和29年武雄市に引き継がれていて54年目を迎えた。これまでに、一般会計に155億円を繰出して、市の財政には大きく寄与して来た。その使途は、土木・教育・水道・農林費などが約8割をしめている。

★**デフレ経済と武雄競輪**
上表のように、バブル崩壊後も3〜4億円は、一般会計に繰出し、国内の他の競輪場が苦戦する中、堅調に推移して来た。

当時、井上、吉岡、佐々木の地元選手の活躍やS長崎やS久留米の場外の空利用もあっ

たけお競輪は、昭和25年に旧武雄町の事業として、始められ、昭和29年武雄市に引き継がれていて54年目を迎えた。これまでに、一般会計に155億円を繰出して、市の財政には大きく寄与して来た。その使途は、土木・教育・水道・農林費などが約8割をしめている。

たけお競輪は、昭和25年に旧武雄町の事業として、始められ、昭和29年武雄市に引き継がれていて54年目を迎えた。これまでに、一般会計に155億円を繰出して、市の財政には大きく寄与して来た。その使途は、土木・教育・水道・農林費などが約8割をしめている。

たけお競輪は、昭和25年に旧武雄町の事業として、始められ、昭和29年武雄市に引き継がれていて54年目を迎えた。これまでに、一般会計に155億円を繰出して、市の財政には大きく寄与して来た。その使途は、土木・教育・水道・農林費などが約8割をしめている。

たけお競輪は、昭和25年に旧武雄町の事業として、始められ、昭和29年武雄市に引き継がれていて54年目を迎えた。これまでに、一般会計に155億円を繰出して、市の財政には大きく寄与して来た。その使途は、土木・教育・水道・農林費などが約8割をしめている。

栄八通信

ハートコミュニケーション

第17号

147(10) 月末発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

★**競輪場の廃止は**
全国には、50場の競輪場があったが、近年、西宮・甲子園・門司の3場が廃止になっている。武雄も、一般会計から赤字補填する事態になれば、廃止すれば良いとの考えもあります。廃止すれば、競輪の競技会や選手会に、約10億円といわれる補償金や土地を借りている、清香奨学会に施設を解体し原状復帰しなければならぬなど、ある程度の基金をもたないと廃止もできません。

また、雇用の場としても重要で市役所職員11名、従業員239人を地元雇用しています。

たけお競輪は、昭和25年に旧武雄町の事業として、始められ、昭和29年武雄市に引き継がれていて54年目を迎えた。これまでに、一般会計に155億円を繰出して、市の財政には大きく寄与して来た。その使途は、土木・教育・水道・農林費などが約8割をしめている。

たけお競輪は、昭和25年に旧武雄町の事業として、始められ、昭和29年武雄市に引き継がれていて54年目を迎えた。これまでに、一般会計に155億円を繰出して、市の財政には大きく寄与して来た。その使途は、土木・教育・水道・農林費などが約8割をしめている。

たけお競輪は、昭和25年に旧武雄町の事業として、始められ、昭和29年武雄市に引き継がれていて54年目を迎えた。これまでに、一般会計に155億円を繰出して、市の財政には大きく寄与して来た。その使途は、土木・教育・水道・農林費などが約8割をしめている。

九州の競輪とサテライト



同日開催場と売上 (億円) H14年度

武雄	熊本	別府	小倉	久留米	佐世保
96	352	131	369	154	119

収支見込み

年	収入 (億円)	損益 (億円)	前年繰越 (億円)	基金残高 (億円)
14	100億円	△1.7億円	1.7億円	9.5億円
15	120	△0.9	0.7	8.6
16	135	△1.0	-	7.6
17 [㊤]	217	+2.5	-	10.1
18	137	△2.3	-	7.9
19	137	△0.7	-	7.2
20	137	△0.6	-	6.6
21	135	+0.5	-	6.6

H15 サテライト宮崎
H16 サテライト鹿児島
H17 ふるさとダービー開催[㊤]
H21 機材リース料完済

経営改革断行

★**健全化計画の主要施策**
このような状況の中、競輪課は再生案を作り、一部実行している。

●**経費節減**
損益分岐点を下げるために、経費の年間3%を削減し、職員を削減、従業員を200名にして同時に平均賃金を削減する。また、ファンバスの路線見直しや小型化をはかる。

ちなみに、H11と12年の間が損益分岐点で売上げ額で150億円が今までのコストでの分岐点。

●**売上拡大**
新たな取組みによる増収
新賭式の導入で、高配当の出る3連単(1、2、3位を当てる)の発売はすでに実施。本場集客の為に井上茂徳林など冠レースの企画。

県外に専用場外発売施設を設置する。すでに、今年8月には、サテライト宮崎をオープンしている。また来年には、サテライト溝辺(鹿児島)設置する予定。

また、自動発券機や自動支払機も増設する計画で一部実施済み。ちなみに、専用場外の売上げ見込みは、宮崎・鹿児島共に約10億円を予定している。

健全化計画見込

★**6年間の収支**
健全化計画の収支見込み表で見ると、結論としては、今後の収支目標を、現在の100億円から、137億円に伸ばして行く。

その額を、本場で約110億円と場外で約25億円を確保する。

3連単などの機材のリースが、H15〜H20までの6年間あり、赤字になるが、H17年ふるさとダービーの開催で少し赤字を押える。

結局は、基金を9億5千万円から6億6千万円へ、2億7千万円を6年間で減すが、H21年には機械リースが完済し、黒字化するという。

もちろん、一般会計に6年間は繰り出すことはできない。昭和60〜62年間連続3年間がこれまでの最長で、大きな転換点にあることは、まちがいない。

結論として、こう見て来ると、競輪の存廃については、健全化計画に基づいて、機器導入やサテライトの開設など、すでに投資してしまっているの、現時点や、H

17年の合併を機会に廃止するのはもはや、できない状況。

一方、サテライトの使用契約は一年更新なので心配はないのですが、付属設備などの償却もあるの、やはり、健全化計画のH21まで経営努力を続けながら、運営してそこで、再度検討が必要だ。

一方、全国47場で、売上げの少ない競輪場には、ふるさとダービーや西王座戦というS級選手が出場する特別競輪をさせてもらい通常の2倍を売り上げられるので、そこで収支の改善することも可能です。14年度、山口県の防府はふるさとダービーで、徳島県の小松島は、西王座戦で共に200億円台を売り上げています。

また、注目すべき点は、武雄と同規模の売上げの岡山県の玉野競輪は、110億円程度の収入で約2億円を繰出していることです。

もちろん、武雄競輪が、137億円を目指して、努力してもらいたいと思いますが、この不況の時代、そう簡単に計画どりに行かない場合もあるので、収支バランスの観点からの研究も必要ではないかと思えます。

武雄市民病院の 経常状況 15年度黒字化へ

一千万円

武雄市民病院は、国立武雄病院が、国立病院再編計画で、国立嬉野病院に統廃合され、廃止になる所を、市が、H12年に引き継いだ。

国立時代、約3億円の年間赤字を出していた、武雄市が受けるには、荷が重すぎるとの考えが大勢であった。当時の課長は、あくまで、古いアンケートを持ち出し子供の救急や夜間救急の必要性を言っていた。H8年当時、国立武雄病院は、高齢者中心の長期療養型で医療単価が低かった。

また、鹿島市のように老健施設もなく、老人医療の武雄の中核だった。これを、単価の高い高度医療や急性期型に変えて、採算を成り立たせる計画になった。また当時の計画では、小児科の開設や老健施設の併設も考えてあった。

市は、H11年3月に、医療コンサルタントと担当職員協力して、市民病院整備計画を作成した。

その計画をもって、H11年度に建物改築し、H12年2月に市民病院として開設したが営業は2ヶ月であり、H12年度も開業しながらさらに施設整備をしていたため、本当にフルオープンの実績は、H13年度である。今回、H14年度決算が出て、初めて前年度比較ができる状態になった。ここで、再度計画時の収支予測や県内の公立病院とも比較点検をしたい。

表③は、開業後5年間は国が、前年度赤字の1/3補充を入れての、損益で、当初計画からすると、黒字化は1年遅れであるが、ほぼ計画どおりに進んでいると思われ、H13よりH14が収入は増加した。H13年度の実績で入院と外来を合せると、約1.3億円の収入。

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	
現在 の 予 測	入院	8,433	7億5,297	9億9,666	11億0,363	12億5,158	13億0,808	13億0,451	13億0,451	
	外来	3,206	2億9,226	3億1,599	3億5,398	4億0,919	4億2,703	4億2,703	4億2,703	
	純損益	▲ 5,723	▲ 1億6,743	▲ 1億1,836	▲ 5,372	1,122	4,177	2,873	4,518	8,776
開 予 院 前 測	入院	7,216	6億1,902	12億7,257	13億0,328	13億3,475	13億6,700	14億0,004	14億3,330	14億6,859
	外来	2,192	1億5,209	2億9,637	3億1,115	3億1,613	3億2,119	3億2,633	3億3,155	3億3,685
	純損益	▲ 6,122	▲ 3億4,603	▲ 6,034	2,769	3,300	3,855	2,609	3,304	7,548

H13年度	多久市	伊万里市	武雄市	小城町	西有田	共 立
ベット数	105	60 (4)	135 (20)	99	165	98
1日平均入院者	69人	55人	99人	82人	136人	77人
診療科目	内・外・整・耳	内・外・循・胃	内・外・理	内・外・小・産	内・外・小・産・脳	内・外・理
1日平均外来	317人	190人	162人	303人	337人	127人
総 収 入	13億3百万	12億3百万	15億2百万	14億	24億1百万	9億7百万
純 損 益	▲1億27百万	▲ 47百万	▲1億18百万	▲ 14百万	+ 8百万	+ 71百万

各市町比表の総収入では、約15億で、その差2億円が、国からの交付税算入分で一般会計より繰入れているが法に則った処理。

一方、収入は、他の病院が、昭和20年代後半から開業しているの、そこに、1、2年で、同程度の収入を上げて並んだのは関係者の努力によるものと思う。

また、開院の時、問題となった民間開業医との競合については、市民病院が、二次医療に重点を置くとの方針としたが、H14年度では紹介率は約35%で連携を実現。現在、内科、外科医師2名で夜間診療しているが、患者の約2割は時間外で、救急車出動の約3、4割は、市民病院に搬送している。

佐賀県西部1市3町合併 合併協議会 中盤の動き

協議会の論議活発

合併協議会の議論を毎回傍聴に行くが、各首長や委員の方も、感情的になることなく、熱心に論議されていることを市民の方に、まづお伝えしておきたい。私は、今までの審議会などで見られる原案やコンサルタント案の追認的な協議会になるのではとの心配もしていたが、それは解消した。

協議会の決定や進行状況は、合併協議会だより「きらりと光るまちづくり」を見ていただくとして、ここでは、私の見方での合併問題をどうとらえるかを述べたい。

まず、前回の通信で、新市名は看板の付け変えなど費用の面で、できれば武雄市名を使った方が良いのでは、と言う主張を撤回します。

それは、看板には、武雄温泉や嬉野温泉、たけお競輪など市名は大々的に表示してなく、利用はできること。もう一つは、協議会の話の中で、武雄市に3町が吸収合併するのでなく、現在の市町単位で、自治自立し地域を良くしてその集合体として新市の活性化を目指すと考えている民間委員は多く、基本的な流れになっっている。そうなれば、逆に武雄市でない新しい市名が良いのではと言う考えに変わったからです。

住民負担問題

今、合併協議会で、一番問題になっているのは、住民負担すなわち料金の問題です。前回通信に主な負担の違うものを列挙しましたが、私は、そう問題がないと思っていた使用料手数料の件で会長提

案が継続審議となりました。具体的に伝えると、住民票などを取る時の、手数料が山内町が、2000円、他市町は3000円かかるが、新市では、3000円に統一するとの提案でした。しかし、山内町長及び同町委員は、差1000円であろうとも、合併を機に値上げになるのは町民感情から見ても賛成できないとの意見でした。

この意見というか、考え方は、金額の問題でなく、本来合併は、住民負担の軽減やサービスの向上を目指して合併しているという根本理念を問いかけることになりました。私も、選挙公約に、「負担は低く、サービスは高くなるよう努力する。」と上げていたのでこの問題が、この協議会の課題になった事を、歓迎しています。

これから、どんな、税や料金などの提案が出て来ます。それをどう解決して行くか問題ですが、一番大事なことは、方針を決めて整理することではないかと思う。

このところ、県内合併協議会からの離脱が目立って来た。そこで、武雄市の合併協が、そうならない為に参考として、それ

ら的事例を検討して見た。以前の、玄海町の場合は、原発の税収で、国から地方交付税を受けてないので合併の必要性が少ない。と当市とは状況が異なる。鳥栖市の場合、都市計画の線引き問題で、市街化区域と調整区域に分け、前者からは、都市計画税を取り、積極的に開発する。後者には、開発制限をする制度であるが、これは、現在、1市3町に制

度がないため、それも当市の合併に関係はないと思われる。また、白石町の離脱の理由は、新庁舎の建設の位置と協議において信頼関係が損なわれたとの理由。西部1市3町の協議会では、本庁は武雄市役所内に置くことと決つていて、これも問題はない。

しかし、たまたま、私が杵島6町の合併協議会が、解散前の第15回の協議会を傍聴に行った時に、激論となっていたのは、議員の身分の問題で、定数での設置選挙と定数や在任の特例を使うかで、小委員会でも論議でまともならず、本協議会ですら、対立し、その場合は、会長あざかりとなった。その後のすぐの離脱であったので、私は、6町の解散の本当の理由は、議員の身分問題ではないかと思つている。

そこで、当協議会の議員の問題の状況は、小委員会でも話し合われているが、嬉野町議選後の11月ごろ一定の方向性を出すとのこと。

県内協議会離脱の動き

新市が選挙区を設定した時の
各市町の議員数の想定
(選挙区がない場合は
人口2,500人に1人)

市町名	現議員数	有権者数の 想定議員数
武雄市	24人	13.7人
山内町	16人	3.9人
塩田町	16人	4.6人
嬉野町	20人	7.8人
計	76人	30人

私の質問と市の答弁

1市町村合併

合併項目の会長提案に改善を

合併協議会の進め方は、55項目を一開催ごとに、4〜5項目ずつ会長提案を確認(承認)する型で進められている。しかし、この

核心である提案が、他の首長である副会長から前回異論が出された。事務方の幹事会から上った提案が、そのまま会長提案として出ているのではないかと思う。提案のやり方次第では協議会離脱にも繋がる。各首長が、事前に話し合いや連絡を取って、会長提案をして欲しい。

【市長答弁】

会長・副会長会をできるだけ聞いて行きたい。

追伸 10月14日開催された模様。

●新市は集権か分権か

市長は、新市の基本方針として役所の本庁集約による効率重視と各町総合支所を中心に地域分散型のどちらをめざしているのか?

【市長答弁】

これについては、協議会で話し合って決られるものと考えている。

●重複項目に対する方針は?

55ある協定項目は、ほとんどが、「新市に引き継ぐ…」との内容で、意見が対立すると思われる。水道料金や国保税や固定資産税な

ど重要項目がどうなるかが心配であるが、市長はどういう方針か?

【市長答弁】

今は、どうするかと決めていない。随時、出て来た所で協議したい。

※私の要望

後半になって重要項目に時間がかかって期限内に合併が困難ならぬよう重要項目については、事前に検討を重ねてもらいたい。

また、提案の原案を課・係職員で専門部会で作ると思うが、料金設定等については、コストからの算出は職員でも可能だが、住民負担は政治的決定も必要なので、全首長で方針を決め、専門部会に指示していく必要があるのではと要望。

2経済雇用対策

東部開発の商業立地と雇用

来年度より東部地区5・6haの農地を、ロードサイド商業の立地を促すと言う。ただし、北部商店街に壊滅的打撃を授ける、大型店を除くとの方針だが、不況で若者の就職の場のない今日、夢タウンは約500人の雇用があり、市内の商業販売額もH9年424億円が、H14年は493億円と

なれば、大型店を始から除外する考え方は、合理的な考えではない。また、ロードサイドのカテゴリーキラー(大型専門店)薬店・コンビニ・スポーツ店などが立地した方が、地元商店には打撃であり雇用や市が望む固定資産税収も平屋建築では、多くは望めない。

むしろ、北部の地元商業者ではできない広域商業をする大型店を立地させ、その固定資産税の一部を市街地の整備に投入した方が現実的と思うが市の考えは。

3行財政改革

●行革に外部チェックが必要

行財政改革は、当所、民間委員などの指適もあり内容もふみこんだものになったと思う。もう8年ぐらい過ぎたので、もう一度外部からのチェックや提案を加えてもらったがより行革が推進されるが

【回答主旨】

外部チェックも考えて見たい。

●男女共同参画は進んでいるか

今回は、参画の象徴である行政の方針決定の参画について、市の審議会等への女性の登用は増加しているのか

【答弁主旨】

平成10年度には、女性登用率が約10%だったが、平成15年度では約20%に登用率は上っている。

△解説△

しかし、重要な会議は婦人会長のみ、また男女共同参画推進市民会議は7割が女性といった様に極端なばらつきがある。

●入札改革は進んでいるか

佐賀市での、工事の入札改革が新聞に取り上げてある。武雄市も公共事業の入札・契約制度の透明性や競争性の向上の為に、制度の見直しを進めるとしているが実際進んでいるのか

【回答主旨】

郵便入札は、不良工事の問題もあり、考えてないが、指名業者の現場説明会を止め、予定価格の事前公表をし、入札後に指名業者を公表し談合を防止している。

4教育文化行政

教育委員会と高校再編

6月議会において、高校再編については、教育委員会は議論の場を自ら作らないとの答だった。

新聞では、「子供の側から教育を考える会」から「市民と行政が

議論する場を設けることを求め、市長や教育長も理解を示した。」とあるが、議論の場はいつ作るのか

【回答主旨】

新聞に書いてあるが、私はそんな意味とは考えていない。

●図書館の利用サービス向上

開館時間の延長と休館日の変更のことだが、伊万里や鹿島市では

市長提案

(議案の主な内容)

●選挙の投票管理者立会人の費用の改正

この案件は、現在の不在者投票制度が、「期日前投票」制度に変わったため、主な内容は、以前のように封筒に入れず、直接投票できることや、選挙告示日は投票できないなど。(無投票もある為)また、期日前にも投票立会人等も置くため報酬を定める。ちなみに、投票日の立会人の報酬額は10700円で、期日前は9600円になっているが、期日前は朝が8時半からで、1時間半短い為に額が異なる。

●企業立地の奨励制度を拡充する改正

不況の中、市内に企業の立地を促進する為に、「設置奨励金」として、2千万円以上の土地や建物を取得して事業を始めた時は、3年間固定資産税相当額を補助する。

また「雇用奨励金」として5人以上を新規に雇用した時は250万円を補助する。さらに「利子補給金」として1千万円以上を土地や建物に借入れて立地した時は、利子の1/2を補助する内容で、業種は、製造業や運送業、卸売業など、

●講堂の使用料規定をなくす改正

金曜日は7時まで開けている。また、常に月曜日休みでなく、理容業の方などのことを考えれば少しは変更しても良いのではないかと他の議員の質問に対し、「開館当初からの課題だが人員のローテーションなど調整が必要。また、延長してどれだけの人が来るかわからないので現在は実施しない。」と

の答だったが、それなら、半年間とか実験的に、試行すべきでは?

【教育長回答】

実験的にはやらない、実験的にやる様なら、本実施をする。

※私の要望

ただ、考えているだけでは進まないで、他市のデータを研究して判断するように要望した。

●市政50周年記念事業 実行委員会補助金

来年、市政50周年を迎えるが、今回、事前準備や記念品の発注などで約250万円支出する。来年度と合せた総額は、2千4百万円で、記念式典や記念イベントと記念誌などを作成する。ただ、議員からは全市民が関心をもつような企画にするよう注文

●次世代育成支援対策 ニーズ調査

国県の主導で、小学校以下の子育て世帯のニーズ調査をする。アンケート等を15年度に行ない17年度に計画をまとめるといふ。私としては、アンケート結果が出た時点で、市は即実施してもらわなければ、逆に3年間無駄な時間が過ぎる可能性もある。

●新さが水田農業確立 推進事業

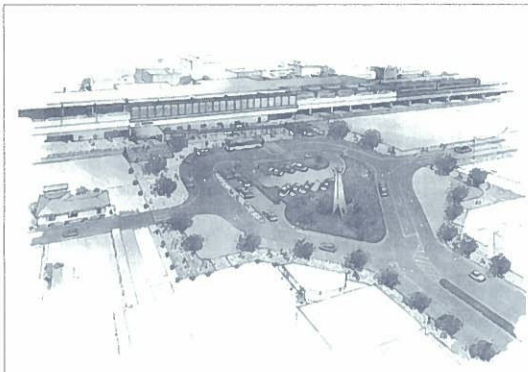
これは、現在、国が米の減反政策をしながら国の買い入れや価格調整していたものを、作付面積でなく、数量を決めて買い取る方式にする。また、生産調整も、20haを基本とする農区の生産者自身が調整することを、協議会を作って農民に周知する事業。見方によれば、地域農業の方針を自ら決められることや農区内での分業融通がきく反面、政府が農業支援を少しづつ減して行く入り口とも見れる。



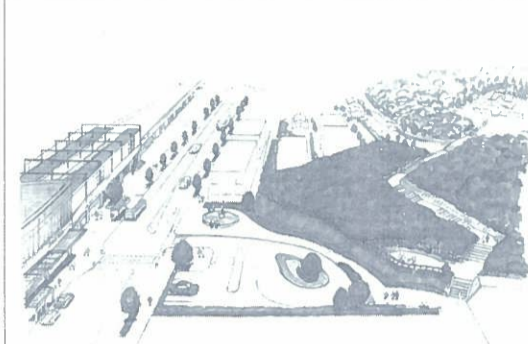
鉄道高架と区画整理のゆくえ

スケジュール 表A

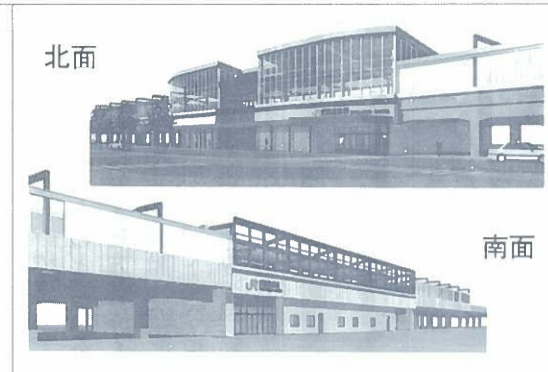
年度	鉄道高架事業 (佐賀県)	区画整理事業 (武雄市)
15	高架工事	川端地区移転
16	新駅舎	駅南口広場整備
17	線路切替	〃
18	旧線路撤去	北口広場整備
19		駅前県道の南から新線路間の区画整理
20		



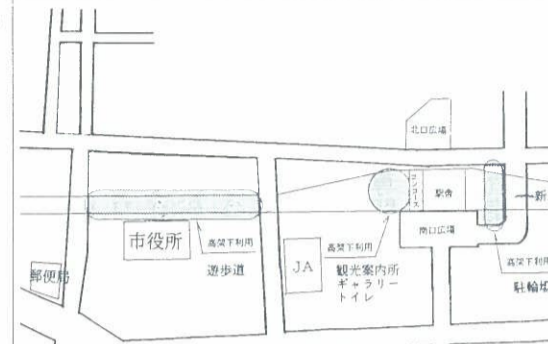
南口広場



北口広場



新駅イメージ



高架下利用計画

いよいよ、高架のピア（橋脚）も、着々と伸びて来た。全長は、3kmで、東は佐賀女子高校付近から、西は武雄警察署付近までで、8ヶ所の踏切りを解消する。また、武中の横の小楠こ線橋が平面になり、駅横に、南北を継ぐ道路が新設される予定。

一方、高架本体はJR所有となり、市に固定資産税を払う代わりに高架下約15%を無料で使用させるが、図②のように、駅西に、トイレ・観光案内所・多目的スペースを、川端地区に遊歩道、東側新道横に駐輪車として市は利用する。

表Aに示したように、H15現在川端の飲食街が、「押せ押せ替地」と言って横にずれながら、移転している。これは、原位置替地の原則と違って、できるだけ元の場所に近い所に替地をするため。

◆H16年には、市が駅南の旧貨物ヤード線路部分を約1億円でJRから購入し、南口のロータリーの高さまで、土を掘り下げ、新駅ホーム近くまで車が行けるようにする。南口広場を図③のように2年かけて整備する。一方JRは、図①のような、新駅舎を建設する。

この駅舎のデザインは、JR佐世保線高架期成会（武雄商工会議所を中心とした各種団体）で議論を重ねて提案。これは、近代的で、開放感を重視している。

一方、和風の温泉新館をイメージした案とで議論が激しかったが、中途半端な和風になる心配もあることや、複雑な構造で、建設費用がかさむ場合、市が負担しなければならぬことから、本案を選択。

また、新駅舎は線路の切り替えの関係で、南側半分を初めに作り、その後、北側半分を合体する。

◆H17年度は、高架も完成し、線路の切り替えもできて、踏切りはなくなり、本体工事は一応完成。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

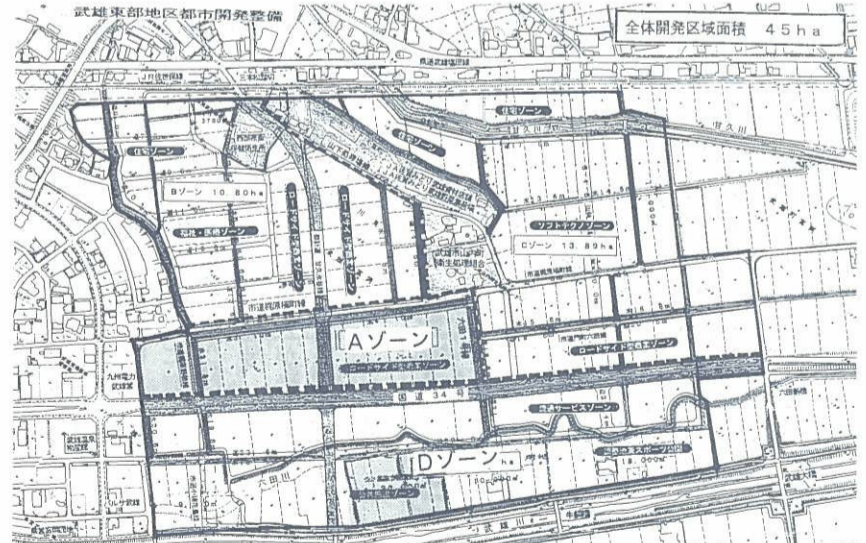
◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。



◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

◆H18年度は、北口の交通広場を図④のように整備する。また、旧線路を撤去する。

◆19～22年度まで、松原のおれんじ通りの、南側の商店を、旧線路敷の分、区画整理で南に下げて松原通りを、20m道路にする。

また、駅北口前の永松地区の路地を区画整理する。

東部開発のその後

東部開発については、9月議会正式に決った。

後は、5年ごとに見なおされる農業振興地除外の手続きがすめば、来年始めにも開発でき、今回、開放はAゾーン図の5・6haである。

ただ、企業の立地が早く進めば、開発から1年たてば新に開発できると今回知った。そうなれば、残りの40haの地主さんも、どうするか早く考えていたが良いのではと思う。また図には住宅ゾーンとか福祉医療ゾーン指定してあるが、これはあくまでも想定であり、最終的には、土地所有者の判断になること。

現在、Aゾーンは、地権者会を作り、市を含め、受入れ計画調整を進めている。聞く所によると、複数の引き合いも会っているもよ

決算委員会始まる

9月議会に、平成14年度の決算書が出されました。議会では、それを一般会計と特別会計とに分れて、4～5日かけて、決算委員会が開催されます。

この委員会は、決算結果を認定する意味もありますが、国会

のように予算委員会がないので、平成14年度の決算を審査しながら、苦言や注文を付けることで、市の平成16年度の予算編成に、議員の意見を反映できる可能性があります。もし、市民の方が、市の現在の事業に対してご意見をおもちであれば、議員に今言うことも有効な方法です。決算委員会は、11月4日より、始まります。

う。ちなみに、この土地5・6haの開発で、市に入る固定資産税は、土地について約6千万円を見込んでいる。

また、南Dゾーンの下水道終末処理場用地についての動きは、地権者との用地交渉が10月初めに締結し順調に推移。

制作後記と今後のプラン

議員にさしていただき、もう半年がたつてしまいました。

市役所内に議員控室があり、議員全員に机があります。本来は、議会中に、書類や道具を置く所なのですが、私はこれを議員活動の拠点として活用しています。1市3町の合併協議会や鹿島・大良の協議会の傍聴や、水道課などに調べに行くこともありますが、大概、市役所4階の控室で、考えたり、各課の事業の状況を調査したりしています。ただ、この繰返しになっていて、市民の方の意見などを聞く機会が、極端に少なくなっています。

今後、その辺を変えよう。一方、市の状況も再度把握できたので、公約実現の為に具体案を出したいと思っています。

ミニ情報コーナー

★学校二学期制

市の教育委員会では、市内小中学校に、二学期制の導入について検討させている。もし、校長会で合意ができれば、来年度からでも実施すると言う。また、実施する時は、市内全小中学校で同時に実施すること。

★14年度決算120億円

予算112億円で、スタートしたが、最終的には、120億円の決算で、約1%の2億円が繰り越り金となった。毎年、この程度の繰り越金はあるとのこと。この金は、1億円を職員退職金の積立金へ積み立てる。合計残高は約9億円である。あとの1億円は、当初、公共施設整備基金を取りくずしていたので、そこへ戻した。現在残は、約9億5千万円。

制作後記と今後のプラン

議員にさしていただき、もう半年がたつてしまいました。

市役所内に議員控室があり、議員全員に机があります。本来は、議会中に、書類や道具を置く所なのですが、私はこれを議員活動の拠点として活用しています。1市3町の合併協議会や鹿島・大良の協議会の傍聴や、水道課などに調べに行くこともありますが、大概、市役所4階の控室で、考えたり、各課の事業の状況を調査したりしています。ただ、この繰返しになっていて、市民の方の意見などを聞く機会が、極端に少なくなっています。

今後、その辺を変えよう。一方、市の状況も再度把握できたので、公約実現の為に具体案を出したいと思っています。

ミニ情報コーナー

★学校二学期制

市の教育委員会では、市内小中学校に、二学期制の導入について検討させている。もし、校長会で合意ができれば、来年度からでも実施すると言う。また、実施する時は、市内全小中学校で同時に実施すること。

★14年度決算120億円

予算112億円で、スタートしたが、最終的には、120億円の決算で、約1%の2億円が繰り越り金となった。毎年、この程度の繰り越金はあるとのこと。この金は、1億円を職員退職金の積立金へ積み立てる。合計残高は約9億円である。あとの1億円は、当初、公共施設整備基金を取りくずしていたので、そこへ戻した。現在残は、約9億5千万円。